公益社団法人
フードバンクかながわ

2023年度 事業活動のご報告

「もったいない」を「分かち合い」・「ありがとう」へ

支援団体によるパン配布の様子

冷凍食品搬入の様子

取り組みや参加の輪がさらに広がりました

米国メジャーリーグ日本オフィスより寄贈いただいたクリスマス菓子

長崎県立佐世保北高校修学旅行生による学習・体験会

公益社団法人フードバンクかながわは県内 12 の非営利団体の協同により設立され運営される「もったいないを分かち合い・ありがとう」へとつなぐフードバンクです。

年間事業活動報告 2024 年3月31日現在

- **年間寄贈食品　重量 350.6 トン**
  - 企業・生協・JA 等　233.0 トン
    （うち寄付金での購入 28.8 トン）
  - フードドライブ　117.6 トン
- **年間提供食品　重量 341.8 トン※**
  - 行政・社会福祉協議会　44.1 トン
  - 地域のフードバンク　132.4 トン
  - こども / 地域食堂　113.8 トン
  - 施設・福祉　14.8 トン
  - 外国関連支援　36.6 トン

- **寄贈合意書締結団体　298 団体**
- **提供合意書締結団体　366 団体**
  - 行政・社会福祉協議会　63 団体
  - 市民団体　303 団体
- **フードドライブ回収拠点　351 カ所**
- **2023 年度寄付金　12,097,876 円**

※年間提供食品の重量には、こども家庭庁の助成活用による 111 団体への精米（102トン）提供分は含みません

賛助会員団体	227 団体
賛助会員個人	318 人
寄付金累計	89,886,830 円

決算報告は総会後ホームページにアップします

代表理事・常務理事のあいさつ

共同代表　當具 伸一
神奈川県生活協同組合連合会 会長
生活協同組合ユーコープ代表理事 理事長

日頃より、フードバンクかながわへのご理解・ご協力ありがとうございます。「『もったいない』を『分かち合い』・『ありがとう』へ」をスローガンに発足したフードバンクかながわは、当初想定を超えて活動の輪が広がっています。

一方、地域社会の中での「格差と貧困」はますます広がり、二つの貧困（経済的貧困・社会的孤立）は深刻さをましています。

このような中で、行政・社協・民間支援団体が一体となって、「地域のセーフティネット」づくりがますます強く求められています。

今後、フードバンクかながわは神奈川県内の中核的フードバンクとして、地域フードバンクや様々な支援団体とネットワークをつくり、「食の支援」を切り口に、「地域のセーフティネットの一員」としてますます役割を果たしていく決意をしています。これからも皆様方の倍旧のご支援をお願いいたします。

共同代表　林　克己
日本労働組合総連合会神奈川県連合会 会長
神奈川県労働者福祉協議会 会長

日頃より、「フードバンクかながわ」に対するご支援に感謝申し上げます。2018年の設立から6年が経過し、7年目を迎えることとなります。この間、賛助会員は310名を超え、食品寄贈事業者数も約300社となりました。また、近年は冷凍食品の取り扱いを開始し「もったいない」を「分かち合い」・「ありがとう」への輪が着実に広がっています。

一方、もはや避けられない人口減少により、社会の維持はもとより、あらゆる組織やしくみの「持続可能性」が問われてきます。私たちの生活・暮らしを持続可能にするためには、多様性を受け入れ、困った人が支援を求めやすい社会づくりや、周りに困った人がいたらすぐに手を差し伸べられる地域づくりが不可欠です。

私たち労働組合・労働福祉団体として、引き続き「お米一合運動」や「フードドライブ」活動を継続するとともに、学習会や体験研修を通じて「知ってもらい・伝えてもらい・行動する」を働く仲間に広げる運動に取り組んでまいります。引き続き、皆様方のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

常務理事　半澤 彰浩
生活クラブ生活協同組合 専務理事

いま世界は大変な時代になってきています。コロナパンデミックを契機とした疫病、公衆衛生問題、気候危機、経済のグローバル化による世界的な格差・貧困の拡大、そして戦争。地震や気候変動による災害での死者や被害の増加も大変大きくなっています。年明けに発生した能登半島地震は多数の被害が発生し被災が続いています。誰もが「いのち」の危機にある社会になっていると言っても過言ではない時代です。そうした危機を解決していくためには国や自治体、企業だけに委ねるのではなく、私たちが生活し暮らしている身近な地域で人同士がつながり「たすけあう」関係、多様なつながり、アソシエーションをつくっていくことだと思います。危機からのセーフティネットとしての食料、エネルギー、ケア、ワークを中心とした自給圏を地域でつくって生活を自分たちで自治していくことが、真剣に求められています。フードバンクかながわはその食の支援として県内の各団体とのネットワークをますます広げていきます。一人ひとりのフードドライブや活動への「参加」がキーとなりますのでご支援をよろしくお願い申し上げます。

常務理事　網野 拓男
生活協同組合パルシステム神奈川 代表理事専務理事

物価の高騰が落ち着きつつありますが、一方で日本国内の経済格差の課題解決の糸口が見えない状況です。

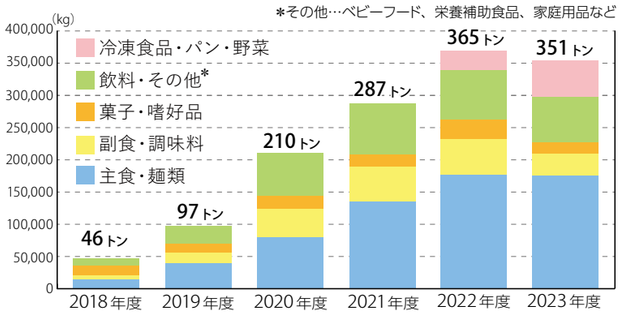
格差社会に陥る原因として、①産業構造の変化（近年の急激なデジタル化）②賃金や処遇の決定方法（高度経済成長期を境に実力主義や能力主義の傾向が強くなった）③少子高齢化 ④非正規雇用の増加傾向 ⑤ひとり親世帯の増加傾向 等が原因とされています。対応策としては、①働き方改革の推進（多様な働き方ができるような環境整備による労働人口の増加）②同一賃金同一労働の取り組み ③ベーシックインカム（生活に必要な最低限の金額を支給する制度）④教育格差への対策（誰もが教育を受けられる仕組みづくり）等が挙げられています。

フードバンクかながわを構成しているそれぞれの組織は持続可能な地域共生社会づくりを目指し、様々な取り組みを実践していますが、同じ地域で異なる組織が手を組んでひとつの事に取り組む意義は大変大きいと感じています。引き続きフードバンクかながわの活動にご理解とご協力を賜りますようよろしくお願いします。

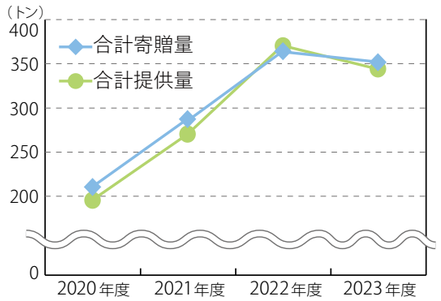
2023年度 フードバンクかながわの概況

食品の寄贈▶　654回 350.6トン（2022年度実績：365.2トン）
食品の提供▶4,013回 341.8トン（2022年度実績：367.9トン）

2018-2023 年度食品寄贈重量（中分類別）



寄贈量 / 提供量推移



さらに広がった取り組み

（紙面の都合で敬称略とさせていただきます）

冷凍食品

休眠預金活用助成／中核的フードバンクによる地域包括支援体制事業

企業からの定期的な寄贈を受け、取扱量は昨年度の 25 トンから 47 トンへと増加しました。3 年間の休眠預金活用助成の最終年度となり、課題であった受配送についてはパルシステム神奈川・セカンドリーグ神奈川と連携し、コールドチェーンの確立に取り組みました。

食支援団体へ冷凍食品の提供

▲マルハニチロの冷凍倉庫内で商品の説明を受けている様子

◀外箱破損品などの理由で出荷ができない食品を中心に寄贈いただきました

マルハニチロ（株）経営企画部　志村 遥夏さん

マルハニチロ（株）は、2022 年から、保冷車や冷凍保管設備を持つフードバンクかながわと協力し、当社製品を保管する物流会社と連携して、毎月冷凍食品を寄付できる仕組みを構築しました。

この取り組みにより、これまで配送や保管の制約で進まなかった冷凍食品の寄付量が大幅に増え、支援が必要な人々に食品を届けると同時に、当社のフードロス削減にも貢献しています。

当社は今後もフードバンクかながわと共に、食の支援を継続していきます。

支援団体で配付する様子

米

～入荷量が前年度を下回る中で～

労働団体から始まったお米 1 合運動がさまざまな団体に広がり、お米の寄贈につながりました。

三浦半島労福協 米一合運動

横浜市社会福祉協議会 米 1 合運動

ユーコープ湘南 2 エリア会　米 1 合プロジェクト

国の助成制度も活用

NPO 法人フードバンク TAMA・NPO 法人報徳食品支援センターと共同でこども家庭庁の助成制度を使い、子ども支援団体や子ども食堂（計 111 団体）へ 102 トン (うち県内 62 団体へは 56.0 トン) のお米を提供しました。

また、農水省の学校給食用等政府備蓄米の無償交付に関する説明会を開催し、のべ 65 団体に 17.4 トンの米の交付が決定しました。

パ ン

山崎製パン㈱の横浜第一工場（横浜市戸塚区）と、5 月からは第二工場（横浜市都筑区）からも月～金曜まで毎日平均すると 1 日あたり 200 個以上の当日焼きのパンをご寄贈いただきました。（累計 8.2 トン、提供回数 247 回）

支援団体に初入荷した第二工場からのパン

事業者寄贈・災害備蓄品 228.5トン（2022年度 218.2トン）

寄贈食品の活用により、食品ロス削減に協力しました

企業・生協から食品を寄贈いただく場合は、食の安全を重視し、双方の信頼関係に基づく合意書を取り交わしています。合意書締結団体は 298 団体、事業者からの寄贈は 228.5 トンとなりました。

（紙面の都合で敬称略とさせていただきます）

日本電計㈱　米

コカ・コーラボトラーズジャパン㈱　飲料

フードバンク愛知　韓国産冷凍餃子

カルビー㈱　シリアル

㈱山星屋　菓子

㈱コケナワ　アイスバー

JA 横浜　デザートベース

生活協同組合ユーコープ　冷凍食品

日本生活協同組合連合会　マヨネーズ

キリンビバレッジ㈱　飲料

㈱サイゼリヤ　スパゲティ（カッペリーニ）

生活協同組合パルシステム神奈川
おもいやりセット（パックごはん、イワシ缶、スープ）

日本農産工業㈱　フリーズドライスープ

寄贈重量（トン）

＊災害備蓄品

マルハニチロ（株）	30.4
生活協同組合ユーコープ	20.7
フードバンク埼玉（サイゼリヤ）	15.0
早稲田大学＊	12.1
キリンビバレッジ（株）	12.1
コカ・コーラボトラーズジャパン（株）	9.6
山崎製パン（株）	8.2
（株）ミツハシ	7.2
相鉄ローゼン（株）	6.6
横浜ゴム（株）＊	5.7
日本生活協同組合連合会	5.5
KDDI（株）	3.9
エバラ食品工業（株）	3.6
フードバンク TAMA（こども家庭庁助成）	3.6
フードバンク愛知	3.6
東京海上日動火災保険（株）	2.9
東京ガス（株）	2.7
（株）コケナワ	2.5
相鉄ホールディング（株）	2.5
日本たばこ産業（株）＊	2.2
相模原市＊	2.1

2トン以上掲載

その他

- **寄付金による購入 28.8 トン**（2022 年度 27.5 トン）
  - ＜内訳＞・米 24.3 トン
  - ・その他食品 4.5 トン

フードドライブ 117.6トン（2022年度 119.5トン）

食品ロス削減・わかちあいの輪が広がりました

フードドライブは SDGs 活動とともに実施団体が増え、イトーヨーカドー 40 店舗、そうてつローゼン 17 店舗、無印良品 39 店舗、イオン 2 店舗等にフードドライブ回収ボックスが常設されています。また各種スポーツの試合やイベント会場でも回収ボックスを設置するなど、フードドライブの取り組みが広がっています。

（紙面の都合で敬称略とさせていただきます）

富士通㈱アメリカンフットボール試合会場にて

中栄信用金庫

明治安田生命

ナチュラルコープ・ヨコハマ

三浦半島労福協

横須賀モアーズシティ

UA ゼンセン

横浜銀行

JA さがみ

フードドライブ実績（トン）

イトーヨーカドー（40 店舗）	22.3
パルシステム神奈川（15 事業所）	19.6
ユーコープ（93 事業所）	12.0
労働団体関係	10.2
そうてつローゼン（17 店舗）	8.4
個人寄贈（持込・直送 474 名分）	7.1
無印良品（39 店舗）	5.7
生活クラブ生協（32 事業所）	5.1
横浜市社会福祉協議会	3.0
JA 関係	2.5
中栄信用金庫	1.7
寒川町	1.6
大塚商会	1.3
ルミネ横浜	1.1
かながわ学生ボランティア連合	1.1

1トン以上掲載

無印良品店舗でのフードドライブに取り組んで

（株）良品計画 横浜事業部 無印良品 青葉台東急スクエア　勝 裕司さん

無印良品 8 店舗のスタッフによる
フードバンクかながわ訪問

無印良品では、各地域の自治体、団体と提携し、フードドライブ活動を推進しています。横浜市内では 2021 年 5 月より店頭に回収ボックスを設置すると共に、自社アプリを使用しての情報発信、近隣小学校や商業施設と連動した回収イベント等も実施しています。

地域のお客様にご協力いただき、2024 年 3 月現在 76,577 点 /14.8 tを回収、横浜市内 24 店舗がフードバンクかながわ様をはじめ、各地域の団体へお届けすることができました。地域の皆様へのフードドライブ活動認知に繋がるよう、今後も自社アプリでの情報発信や、新規出店店舗による回収場所の増設、行政、商業施設と連動したイベントなどを積極的に行っていきます。

学校でもチャレンジ

身近な SDG sとして食品ロス削減を学ぶため、フードバンクかながわへ講座の依頼が増えています。中学校・高等学校の修学旅行での体験研修や、小学生が食品ロスやフードバンクについて学び、実際に校内でフードドライブ活動に取り組むなど、体験型の学習が広がっています。

横浜市立三保小学校

提供先団体の活動と食品活用の様子　提供 341.8トン 289団体 4,013回

こども食堂等食支援活動を行う登録団体が増えました。コロナ禍以降も諸物価高騰の影響で、食支援を必要とする方々が増えています。

団体内訳：行政・社協 47 団体、フードバンク 67 団体、こども食堂 137 団体、施設・福祉・外国関連支援等 38 団体

さくらの森・親子サポートネット

芹が谷子ども食堂スナップえんどう

フードパントリー&みんなの居場所ぶどうの木

こども食堂ココドモン島

あさみぞふれあい夢ひろば

港南台子ども食堂
みんなのカフェ

たすけあい

かみつるまひまわり食堂

みんなの食堂 kitchin あんぷれら

こども食堂ごはんだよ

キッズカフェ杉田

mignon（多世代地域交流食堂みらころ）

ザリガニ食堂

NPO 法人さくらんぼ

RCB 大口夢

こどもニコニコレストラン

ヒーリングマルシェ湘南

スペースナナ

ふじぽけ

こども家庭支援センターゆいの木

ふらっとカフェ鎌倉

NPO 法人ふれあい友の会

スペースおかえり

おむすびの会

平塚 YWCA

TSUNAGU 食堂

横浜みどりの学校ひまわり

コロナ対策プロジェクト

みんなの食堂ラパニス

一般社団法人横浜ひとり親家族福祉会

メダカの学校

マモリヤ

コミュニティしんばし食堂

ともだちの家

みんなの食堂☆つるまき

フードノットボムズ横須賀

ちゃりTea 屋♪
能登半島地震被災地支援活動

フードロスゼロもろおか

会員団体の活動

フードバンクかながわは神奈川県内の非営利協同 12 団体により設立しました。フードバンク事業を通じ地域の「たすけあい」「支え合い」「分かち合い」、相互扶助の社会づくりをめざして活動しています。

生活協同組合ユーコープ

店舗・宅配のフードドライブ、エリア会での組合員による米一合プロジェクトや仕分け体験に取り組んでいます。

横浜南 2 エリア
親子体験企画

フードドライブ

横浜中1エリア会

生活クラブ生活協同組合

年2回のフードドライブと東日本大震災・復興まつりでもフードドライブに取り組みました。

横浜北生活クラブ体験研修

復興まつりでの
フードドライブ

フードドライブ

生活協同組合パルシステム神奈川

おもいやりセット(※)の冷凍版も開始し、ドライセットと冷凍セットを交互に年 4 回取り組みました。

冷凍おもいやりセット

フードドライブ

お米でつながる未来アクション

(※) 組合員が食品セットを注文するとフードバンクに直接届く仕組み

日本労働組合総連合会神奈川県連合会

中央メーデー

4 年ぶりに臨港パークでの開催となったかながわ中央メーデーでフードドライブに取り組みました。

フードドライブ

神奈川県農業協同組合中央会

女性部を中心にフードドライブ活動が定着し、農協大会でもフードドライブに取り組みました。

農協大会

JA さがみ

フードドライブ

公益財団法人かながわ生き活き市民基金

協同組合連携によるオーダーメイドの助成に取り組みました。

特定非営利活動法人参加型システム研究所

情報誌で食支援団体の活動を発信しました。

こくみん共済 COOP 神奈川推進本部

年2回フードドライブに取り組みました。

中央労働金庫神奈川県本部

支店の周年記念のフードドライブに取り組みました。

フードドライブ

杉田支店 40 周年

横須賀支店 70 周年

神奈川県労働者福祉協議会

地域ごとのフードドライブ、米一合運動が広がっています。

川崎労福協

西湘労福協

横浜労福協

公益財団法人横浜 YMCA

学童の子どもたちが倉庫を訪問し、食べ物の大切さを学びました。

神奈川県生活協同組合連合会

神奈川県議会各会派との予算要望ヒアリングでは、食支援活動、フードバンク活動についての意見交換を行いました。

さまざまな活動

食支援活動をステップアップする情報交換会

第 1 回：受取中継点増加で食支援に冷凍食品をもっと使おう

2024 年 1 月 25 日（木）57 名参加

① マルハニチロ株式会社
サステナビリティ推進部
主任 志村 遥夏さん

② 特定非営利活動法人
セカンドリーグ 神奈川
事務局長 松山 吉和さん

③ NPO 法人報徳食品支援センター
理事長 本岡 俊郎さん

④ フードバンクかながわ　藤田 誠

第 1 回チラシ

マルハニチロ株式会社
志村 遥夏さん

第 2 回：学校給食等政府備蓄米交付申請説明会

2024 年 1 月 26 日（金）43 名参加

地域の団体がスムーズに申請を行えるように、農林水産省・関東農政局の担当官に説明していただきました。

フードバンクに関わる政策研究会

以下の通り実施しました。（　）内は講師

第1回：日本のフードバンクが目指す視点
（中央労働金庫神奈川県本部
常務理事 柳井 健一さん）

第2回：地域の食品ロスを地域の福祉で活用を
（エフコープ生活協同組合 組合員活動部 /
一般社団法人福岡県フードバンク協議会
事務局長 向居 秀文さん

第3回：フードバンク山梨の活動から見える子どもの貧困・フードバンク活動とファンドレイジング
（認定 NPO 法人フードバンク山梨　理事長　米山けい子さん）

第 3 回チラシ

ボランティア参加 895 名

毎日個人及び団体のボランティアが食品の仕分けや棚入れ作業に参加しています。ボランティアの皆さんの力は欠かせません。

ボランティア作業の様子

JA 横浜たすけ愛の会

実習生の受け入れ 3 名

横浜市就労準備支援事業を受託する NPO 法人ワーカーズ・コレクティブ協会に協力しました。

学習会・体験研修・視察 85 回 1,517 名

神奈川県立高校家庭科教員体験研修

横浜市立大学ボランティア支援室学生スタッフ

名古屋市立植田中学校

横須賀学院小アフタースクール
（横浜 YMCA）春休み見学会

横浜銀行親子学習会

神奈川大学法学部自治行政学科での講義

食品ロス削減コースターデザインコンテスト

小学生部門、中高校生部門、一般部門の最優秀作品・優秀作品でコースターを作成しました。

コンテスト入選作品
左列：最優秀賞、中・右列：優秀賞

小学生の部

加藤 紬さん

大場柚月さん

杉崎杏奈さん

中高生の部

川久保智子さん

河瀬瑛夢さん

河野百花さん

一般の部

北郷芙紗子さん

斎藤由里さん

内藤 努さん

賛助会員

法人の賛助会員：227団体 730口

（公開団体のみ、敬称略、数字は口数）

個人の賛助会員：318人 1,874口

お名前は割愛させていただきます

マルハニチロ㈱10　味の素㈱10　㈱あらた首都圏支社10　凸版印刷㈱10
大塚製薬㈱横浜支店10　遠州トラック㈱5　JA全農ミートフーズ㈱10　共栄火災海上保険㈱京浜支店10
日本ハム㈱10　㈱ミツハシ10　㈱日立物流南関東10　㈱カワタキコーポレーション
㈱ヨネヤマ　㈱情報システム工学10　福祉クラブ生活協同組合　富士フイルム生活協同組合10
川崎医療生活協同組合　三菱食品㈱10　㈱日本アクセス　東京海上日動火災保険㈱10
横浜魚類㈱10　やまゆり生活協同組合　東都生活協同組合10　神奈川みなみ医療生活協同組合
神奈川大学生活協同組合　加藤産業㈱10　安全輸送㈱10　神奈川北央医療生活協同組合
ワーカーズ・コレクティブJam　㈱ダイイチ10　㈱タカキベーカリー　センター事業団神奈川事業本部
国分首都圏㈱　横浜農業協同組合5　セレサ川崎農業協同組合5　北海道漁業協同組合連合会3
㈱山星屋　㈱明治　相鉄ローゼン㈱5　医療生協かながわ生活協同組合
NPO法人なんとかなる　さがみ農業協同組合5　相模原市農業協同組合5　生活協同組合うらがCO-OP3
日本食研㈱5　日本ロードマーク㈱　㈱NKトランス5　NPO法人ピッピ・親子サポートネット3
㈱伊藤園　連合神奈川職員労働組合2　川崎地域連合2　神奈川県厚生農業協同組合連合会5
㈱横浜銀行10　自治労神奈川県本部4　JAMオイレス労働組合2　全国共済農業協同組合連合会神奈川県本部5
㈱ニチレイフーズ5　日産工機労働組合2　日産自動車労働組合2　㈱神奈川県農協情報センター5
フジッコ㈱10　基幹労連神奈川県本部2　三浦半島地域連合2　神奈川県信用農業協同組合連合会5
日産車体労働組合2　日興電機労働組合2　中地区教職員組合2　オリックス自動車㈱横浜支店10
県中央地域連合2　相模原労働者福祉協議会2　湘北教職員組合2　一社)神奈川県労働福祉センター(ワークピア)3
川崎市教職員組合2　西湘地域連合2　湘南教職員組合2　日本郵政グループ労働組合神奈川県連絡協議会2
相模原市教職員組合2　横浜労働者福祉協議会2　小田原・足柄地域連合2　神奈川県電力関連産業労働組合総連合2
相模原地域連合2　全日本海員生活協同組合3　㈱三菱UFJ銀行10　神奈川県地方自治研究センター2
川崎労働者福祉協議会2　横浜地域連合14　神奈川県教職員組合2　自動車総連神奈川地方協議会2
㈱テイクフォー5　コイト電工労働組合2　㈳福 たすけあいゆい　日産オートモーティブテクノロジー労働組合2
西湘地区教職員組合2　ミツトヨ労働組合川崎支部2　㈳福 いきいき福祉会3　日産労連神奈川地方協議会2
東芝労働組合小向支部2　UAゼンセン神奈川県支部10　㈱コープライフサービス　小田原・足柄地域労働者福祉協議会2
プリマハム㈱10　住友重機械労働組合連合会横須賀地方本部2　三浦半島地域労働者福祉協議会2
川崎市職員労働組合2　西湘地域労働者福祉協議会2　株式会社GMネットワーク　富士通労働組合プロダクトグループ2
三浦半島地区教職員組合2　全印刷局労働組合小田原支部2　電機連合神奈川県地方協議会2
JFE物流京浜労働組合2　三菱ふそう労働組合本社支部2　株式会社バリューハウス3　全駐留軍労働組合神奈川地区本部2
Café de FUKUSHIMA　全日本運輸産業労働組合連合会神奈川県連合会2　横浜労働者福祉協議会東部支部2
ボッシュ労働組合10　伊藤ハム㈱10　神奈中ハイヤー労働組合2　神奈川県教職員組合協議会2
かながわ教職員組合連合2　ハマ冷機工業㈱5　立建設㈱5　情報産業労働組合連合会神奈川県協議会2
森永乳業㈱10　(有)Room for　横浜市教職員組合旭支部　三菱重工グループ労働組合連合会本社・横浜地区本部2
横浜市教職員組合西支部　横浜市教職員組合南支部　横浜市教職員組合鶴見支部　横浜みなみ生活クラブ生協金沢コモンズ運営委員会
横浜市教職員組合港南支部　横浜市教職員組合磯子支部　横浜市教職員組合金沢支部　湘南地域労働者福祉協議会2　株式会社ダン3
横浜市教職員組合中支部　横浜市教職員組合港北支部　横浜市教職員組合青葉支部　横浜市教職員組合神奈川支部　株式会社宝幸10
横浜市教職員組合緑支部　横浜市教職員組合都筑支部　横浜市教職員組合戸塚支部　横浜市教職員組合保土ヶ谷支部　株式会社コモ10
横浜市教職員組合栄支部　横浜市教職員組合泉支部　横浜市教職員組合瀬谷支部　横浜市教職員組合事務職員部　マドレーヌ
横浜市教職員組合女性部　横浜市教職員組合障がい児連絡協議会　横浜市教職員組合養護教員部　湘南地域連合2
サトウ食品㈱10　東京電力労働組合神奈川地区本部相模原支部　横浜市教職員組合栄養教職員部
㈱日立製作所10　東京電力労働組合神奈川地区本部横浜火力支部　東京電力労働組合神奈川地区本部東扇島火力支部2
まいばすけっと労働組合2　東京電力労働組合神奈川地区本部川崎支部2　東京電力労働組合神奈川地区本部藤沢支部2
キッコーマン食品㈱10　東京電力労働組合神奈川地区本部横浜支部2　東京電力労働組合神奈川地区本部川崎火力支部2
東京電力労働組合神奈川地区本部神奈川カスタマーセンター支部2　川崎労働者福祉協議会商社会
パナソニックオートモーティブシステムズ労組佐江戸支部2　㈲彩瑛2　㈱アイホーム　みどりコモンズ エッコロひろば「大人のたしなみ」
パナソニックオートモーティブシステムズ労組池辺支部2　二宮町社会福祉協議会　全日本水道労働組合関東地方本部神奈川県支部
企業組合エコ・アド　横浜東部地区連合2　横浜西南地区連合2　横浜みなみ生活クラブ生活協同組合
横浜なぎさ地区連合2　横浜西部地区連合2　横浜北部地区連合2　横浜北生活クラブわかばコモンズ
横浜戸塚地区連合2　山崎製パン㈱　有限会社アクセル　横浜北生活クラブあおばコモンズ
横浜水道労働組合　全水道川崎水道労働組合　JAM神奈川2　横浜北生活クラブつづきコモンズ
イワタ工業㈱5　かわさき生活クラブ生活協同組合　横浜北生活クラブみどりコモンズ
NTT労働組合神奈川分会　神奈川県高等学校教職員組合2　横浜北生活クラブつるみコモンズ3
東京電力労働組合神奈川地区本部　さがみ生活クラブ生活協同組合　湘南生活クラブ生活協同組合　生活クラブ湘南ふじさわコモンズ
横浜ゴム労働組合平塚支部2　全水道横須賀水道労働組合　神奈川県漁業協同組合連合会　全水道神奈川広域労働組合
横浜北生活クラブ生活協同組合　株式会社ティーカラー3　厚木愛甲地域連合　東京サラヤ株式会社南関東支店2
木内建設株式会社　神奈川トヨタ自動車株式会社10　いすゞ自動車労働組合藤沢支部2　生活協同組合ナチュラルコープヨコハマ
株式会社スズキ自販湘南5　トーヨーカネツ株式会社10　日立製作所労働組合ソフト支部　UAゼンセン富士シティオ労働組合3
横浜子どものあすを語る会　一般社団法人神奈川県地域労働文化事業団　NPO法人全員参加による地域未来創造機構

ありがとうございました

寄付　合計 12,097,876 円

ユーコープフードバンク募金	400 万円	高野山真言宗寺族婦人会神奈川支部様	20 万円	佐藤 毅様	12 万円
日本農産工業㈱様	100 万円	住谷　学様	20 万円	匿名 (S.H)	10 万円
アンリツ労働組合様	92 万円	伊藤 玲子様	20 万円	中島 利恵子様	10 万円
鈴木 邦宏様	60 万円	匿名 (故人)	20 万円	佐々木 麻子様	10 万円
JAM神奈川様	47 万円	菅沢　深様	20 万円	匿名 (Y)	10 万円
JA 横浜女性部様	38 万円	日本発条労働組合横浜支部様	18 万円	井上 冨士子様	10 万円
日立製作所労働組合様	34 万円	生命保険協会様	15 万円	井形 邦雄様	10 万円
小林 義憲様	30 万円	連合神奈川様	13 万円	立野 千秋様	10 万円

紙面の関係で10万円以上の寄付を掲載

JA 横浜女性部

JAM神奈川

アンリツ労働組合

助成金　合計 2,027万円

- 休眠預金活用助成金　1,150 万円（2023 年分）
- 農林水産省助成金　717 万円
- こども家庭庁助成金　160 万円

ありがとうの声

提供団体を通じて食品を受け取った方から

- 一生懸命頑張っているつもりでも生活が厳しいです。できることをしているつもりですが、ここから抜け出せません。ここで食料をいただくことがどんなに有難いか… とても言い表せません。
- ひとり親となり食べざかりの子ども達と暮らしていくのに食事の問題は大きなものでした。食事の貧困は心の貧困につながるのではないかということを身にしみて感じました。利用させていただくようになって食卓も華やかになり、子ども達もお腹いっぱい食べられるようになり、本当に感謝しかありません。
- 食料が買えず困っていたところ、市役所から紹介されて助かりました。物価高で食料品が高騰しているので助かります。
- 食べ盛りの子どもがいて、いつもお米があり、調味料もあるととても助かります。レトルト食品は子ども一人でも食べられて有難いです。

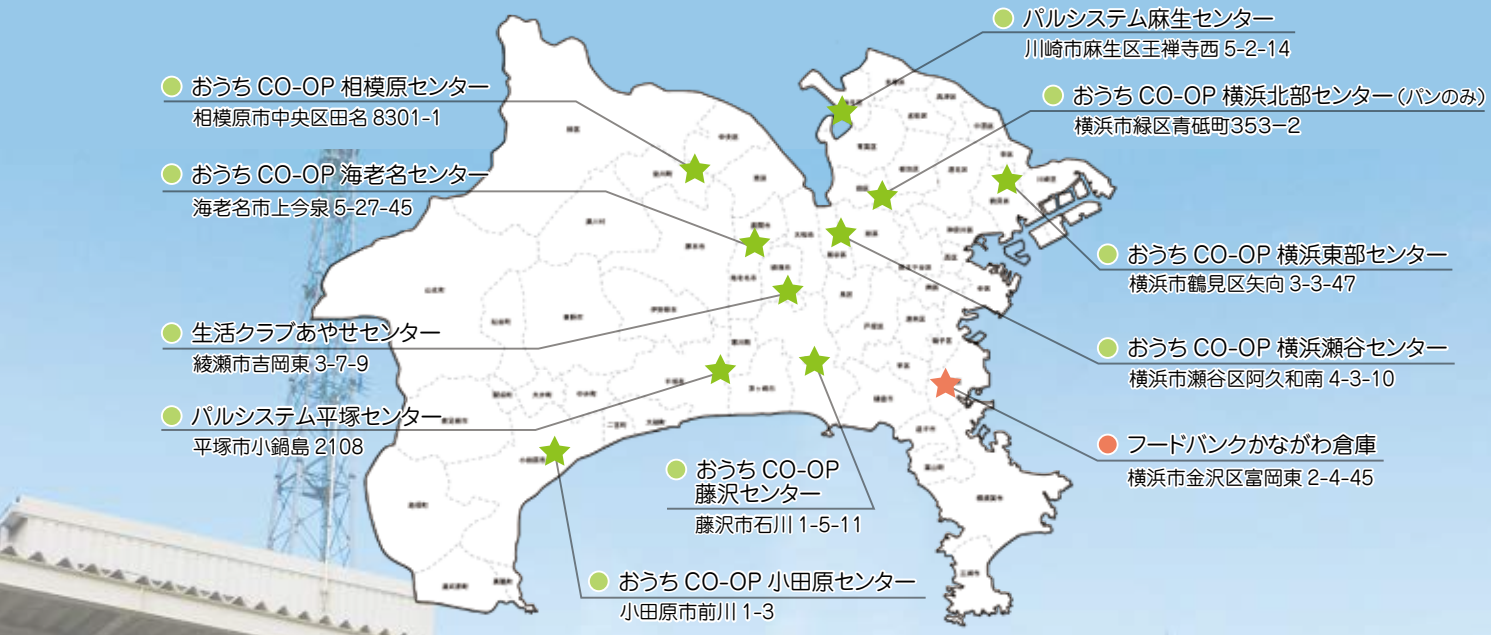
学生への食支援の現場から

- 毎回、たくさんの支援をありがとうございます。コロナ禍は明けつつありますが、物価は高騰し、それにもかかわらず賃金は上昇せず、家庭の事情で実家に頼るわけにもいかない学生はたくさんいると思います。自分自身もそのうちの一人ですが、食の支援の取り組みによって助けられています。本当に心から感謝しています。

食支援を行う団体から

- 物価高騰の影響を受け食費にお金をかけられない方が多く、食料支援のおかげで子どもにおやつを与えられるとたいへん喜んでいらっしゃいました。
- 収入が少なく不安な気持ちになるが、食料を提供してもらえるので安定するまで頑張ろうという気持ちになりますとの声をいただきました。

中継拠点



代表理事	當具 伸一	（神奈川県生活協同組合連合会会長、生活協同組合ユーコープ代表理事理事長）
	林　克己	（日本労働組合総連合会神奈川県連合会会長、神奈川県労働者福祉協議会会長）
常務理事	半澤 彰浩	（生活クラブ生活協同組合専務理事）
	網野 拓男	（生活協同組合パルシステム神奈川代表理事専務理事）
理事	金井 克之	（神奈川県労働者福祉協議会事務局長）
	荻原 妙子	（公益財団法人かながわ生き活き市民基金理事長）
	篠崎 みさ子	（生活クラブ生活協同組合理事長）
	里地 哲子	（生活協同組合パルシステム神奈川常任理事）
	野上 憲王	（中央労働金庫神奈川県本部都県営業担当部長）
	石川 晴美	（公益財団法人横浜 YMCA 副本部事務局長）
	橋田 邦彦	（生活協同組合ユーコープ常務理事）
	四條 信仁	（神奈川県農業協同組合中央会専務理事）
	田中 知巳	（神奈川県生活協同組合連合会専務理事）
	萩原 周子	（日本労働組合総連合会神奈川県連合会副事務局長）
	櫻井 展子	（生活協同組合ユーコープ執行役員・かながわ県本部長）
監事	数寄 真人	（特定非営利活動法人参加型システム研究所理事・所長）
	塩崎 輝幸	（こくみん共済 COOP 神奈川推進本部事業推進部長）
事務局長	藤田　誠	（生活協同組合ユーコープ）
事務局次長	土山 雄司	（生活クラブ生活協同組合）
事務局	薩本 史郎	（生活協同組合パルシステム神奈川）
	三枝 みさ子	（生活協同組合ユーコープ）
	津金 良彰	（常勤）
	市川 敏行	（かながわライフサポートセンター・県労福協）
	小林　薫	（非常勤）
	荻原 妙子	（公益財団法人かながわ生き活き市民基金）
	城田 喜子	（公益財団法人かながわ生き活き市民基金）

公益社団法人フードバンクかながわ

〒236-0051　横浜市金沢区富岡東 2-4-45
TEL：045-349-5803
FAX：045-349-5804
Mail：info@fb-kanagawa.com
2018 年 2 月 22日 設立
HP はこちら

2024 年 6 月　編集デザイン：企業組合 エコ・アド